



2

灯にみんなの祈りをこめて 東京 2020 パラリンピック聖火フェスティバル

8月17日、市民ふれあいの里で東京2020パラリンピック聖火フェスティバルが開催されました。

参加した子どもたちは、平和や将来の夢などそれぞれの祈りをこめた短冊を火のなかに投入。祈りの乗った火はランタンに入れられ、大阪狭山市の火として、会場を出発しました。その後、この火は他市町村から集められた火と一緒に、大阪府の火となり、東京に向かいました。

東京2020パラリンピックが、子どもたちの夢が膨らむ機会となれば幸いですね。

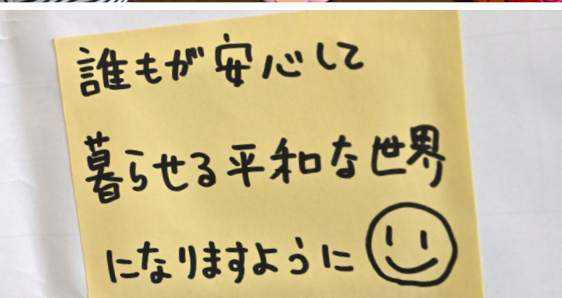
1

疫病退散！ 夢を叶えるでっかいアマビエ

8月20日、市立公民館で夢を叶えるでっかいアマビエづくりが開催されました。

まずは屋外で手足など全身を使って、洗い流せる塗料で楽しく着色。乾かした後、うろこ部分には、自由に絵を描きました。髪の毛は女の子たちがかわいくデコレーション。スパンコールなどかわいいアクセントになり、アマビエがかわいくお化粧をしていました。

また、アマビエに願いを込めて、それぞれ自分の夢や目標、好きなことについての絵も書きました。それぞれの作品は市立公民館で展示しています。



4

Think the Peace 2021 平和を考える市民のつどい

7月31日に「平和を考える市民のつどい」がSAYAKAホールで開催されました。会場では、検温や定期的な換気などの感染症対策が徹底され、定員数を半数にしての開催となりました。

当日は144人が来場し、広島への原爆投下をテーマにした映画「夕凧の街 桜の国」の上映や、事前ワークショップに参加した小中高生による戦争の惨禍と平和の尊さを伝えるメッセージの発表が行われました。

QRコードから誌面で紹介できなかった写真をご覧になれます。広報誌に掲載したあなたの写真を差し上げます。希望する人は、市役所広報プロモーショングループへお越しください。



3

狭山ならではのジオラマが完成しました わくわくイベント「ジオラマをつくろう」

7月24日、狭山池博物館でわくわくイベント「ジオラマをつくろう」が開催されました。今回制作したのは狭山池で祀られている龍神社。ピンセットで一粒ずつ石を掴み、丁寧に段に置いていきます。石の素材は金魚の砂をろ過させたもの。ジオラマには様々な工夫が凝らされています。

石段ができたら、最後にお社をつけて龍神社が完成。子どもたちは嬉しそうに狭山ならではのジオラマを持って帰りました。